

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 8 年 1 月 14 日

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所長 津曲 孝一  
(公印省略)

### 1. 目的

この参考見積の募集は、木曽川中下流用水総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための見積を募集するものです。

### 2. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

(1) 参考見積書は、項目毎に必要な金額を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は問いませんが、別添様式を参考に、項目毎に必要な金額がわかるように記載願います。

(2) 提出期間：令和 8 年 1 月 14 日（水）から令和 8 年 1 月 22 日（木）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、  
午前 10 時から午後 16 時まで

#### (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所長 宛

【担当】木曽川中下流用水総合管理所 工務課

〒495-0036 愛知県稻沢市祖父江町馬飼寺東 26-1

TEL 0587-97-3710 FAX 0587-97-1482

#### (4) 提出方法

書面は持参、郵送、ファクシミリ又は電子メール（社印があること）により  
提出するものとします。

メールアドレス：[jwa\\_kisochuu@water.go.jp](mailto:jwa_kisochuu@water.go.jp)

注：電子メールの場合の添付ファイルは画像形式の PDF 又は画像ファイル形式等で提出してください。なお、メールの表題に【参考見積書】の記載をお願いします。

### 3. 参考見積内容

#### (1) 作業内容

見積仕様書、参考図に示す内容とします。

#### (2) 参考見積徴取範囲

「作業内容」を実施するために必要な単価と労務人数を徴取します。

### 4. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年1月14日（水）から令和8年1月19日（月）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、  
午前10時から午後16時まで
- (2) 提出場所：2. (3) と同じ。
- (3) 提出方法：2. (4) と同じ。

### 5. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり送信します。

- (1) 送信期間：令和8年1月20日（火）から令和8年1月22日（木）まで
- (2) 送信方法：FAXにより送信します。

### 6. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

### 7. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

### 8. その他

- (1) 送付資料の電子データを希望される場合は、メールアドレスをお知らせ下さい。
- (2) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
- (3) ご提出いただいた参考見積書は、積算の目的以外には使用いたしません。

# 見積仕様書

令和8年1月

独立行政法人 水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所

## 第1節 三重用水大貝戸サイホン地中空洞調査

本業務は、三重用水大貝戸サイホンにおける地表部での漏水確認箇所及びブロック積擁壁における境界部について、地中レーダ探査により空洞発生の有無、範囲の確認を行うため、台車（距離計付き）に搭載したアンテナ及び付属装置（以下、「地中レーダ装置」という。）により、電磁波の放射及び反射波を受信し、そのデータをもとにサイホン上の地中状況を確認するものである。

### 1-1 対象施設

施設名	調査延長	規格	管径	地表	地中空洞調査
三重用水 大貝戸サイホン	管体横断方向 6~7m 管体縦断方向 6~7m	P C 管	φ 2300mm	未舗装 倉庫及び コンテナ あり	地中レーダ装置
ブロック積擁壁	擁壁沿い 6~7m				

### 1-2 測定方法

地中レーダ探査は、地中レーダ装置のセンサー部を測線に沿って、起点から終点方向へ移動させ、データを取得する。

### 1-3 事前準備

受注者は、本業務に関する業務内容を十分に把握したうえで、それらをもとに点検実施にあたっての技術的方針（調査方法、安全対策など）及び作業工程を検討し、詳細な業務計画を調査職員に提出するものとする。

### 1-4 地中レーダ探査

#### (1) 探査準備

地中レーダ探査の実施に当たり、大貝戸サイホン地表部においては、地中レーダ装置を移動させる探査範囲を箱尺や巻尺等を用いて把握し、約 1m 間隔のメッシュとなるよう測線を設定する。また、ブロック積擁壁境界部においては、境界部に沿って 1 測線を設定する。

なお、測線数は、現地状況や計測結果に応じて、増減する場合がある。

#### (2) 地中レーダ装置による測定

地中レーダ装置による測定は、切れ目のないように、連続した計測データを得るように行うものとする。また、大貝戸サイホン上部の地中において、漏水及び湧水等に伴う空洞発生の有無及び範囲を確認するものとする。

なお、探査により空洞が確認された場合は、調査職員に速やかに報告するとともに追加調査の実施等について調査職員と協議し、必要に応じて設計変更の対象とする。

計測箇所	測線	内 容	備 考
大貝戸サイホン 漏水確認箇所	横断方向 6~7m 計 7 測線 縦断方向 6~7m 計 7 測線	画像データを出力し、地中の概況を確認	
ブロック積擁壁 境界部	境界沿い 6~7m 計 1 測線	画像データを出力し、地中の概況を確認	

### 1-5 地中レーダ探査結果解析

地中レーダ探査により記録した計測データについて、データ解析処理ソフトにより解析を行い、埋設物、空洞の有無及び地中の状況を把握するものとする。

## 1-6 解析結果取りまとめ

地中レーダ探査により得られた結果については、別途機能保全計画書策定に用いることを念頭に、解析図を作成し、地中の現状を取りまとめて考察するものとする。

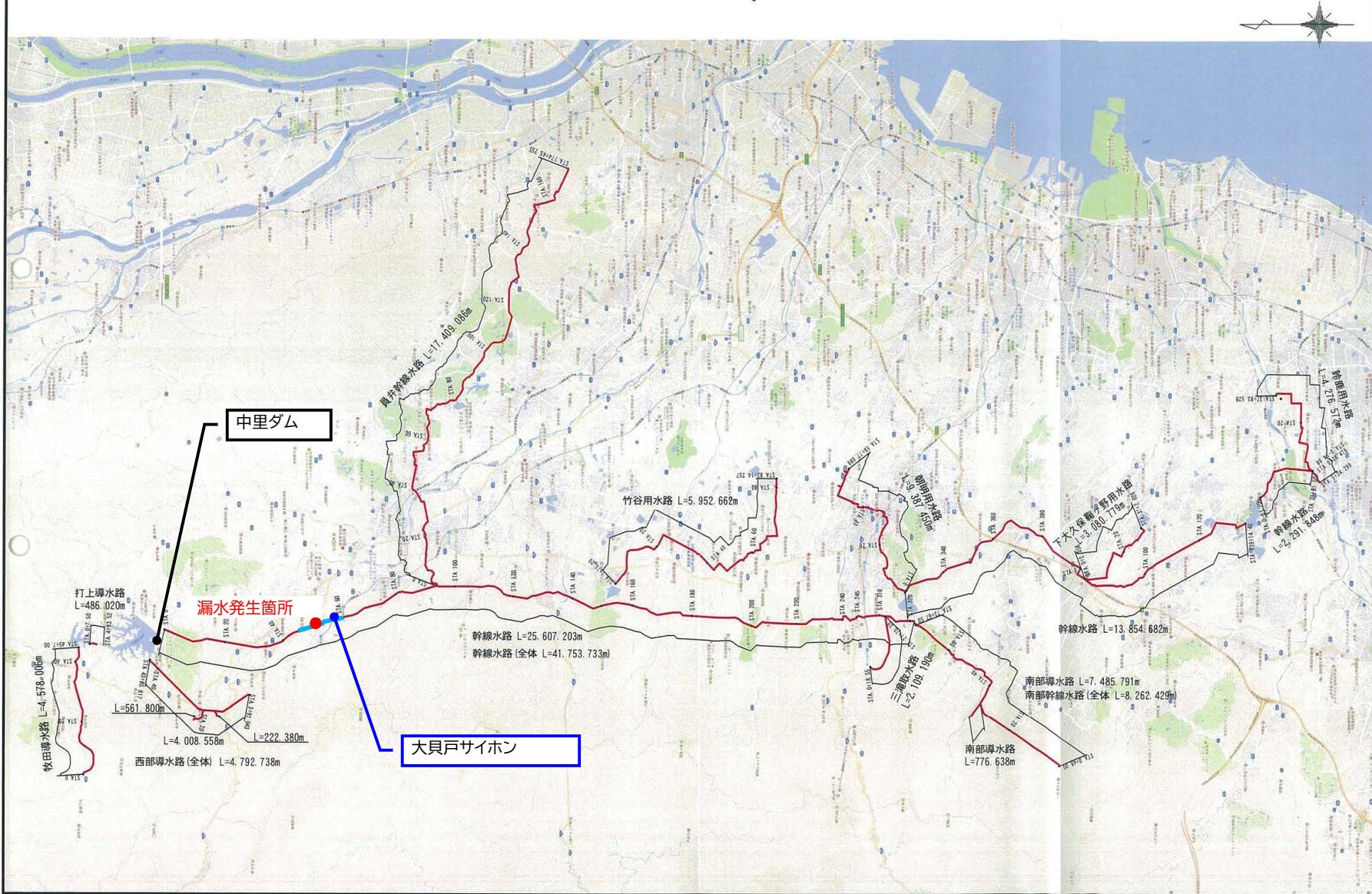
また、解析した波形画像については、測線毎に縦断図として整理を行う。取得した計測の生データについては、報告書の添付資料として提出するものとする。

－以 上－

## 【参考図】

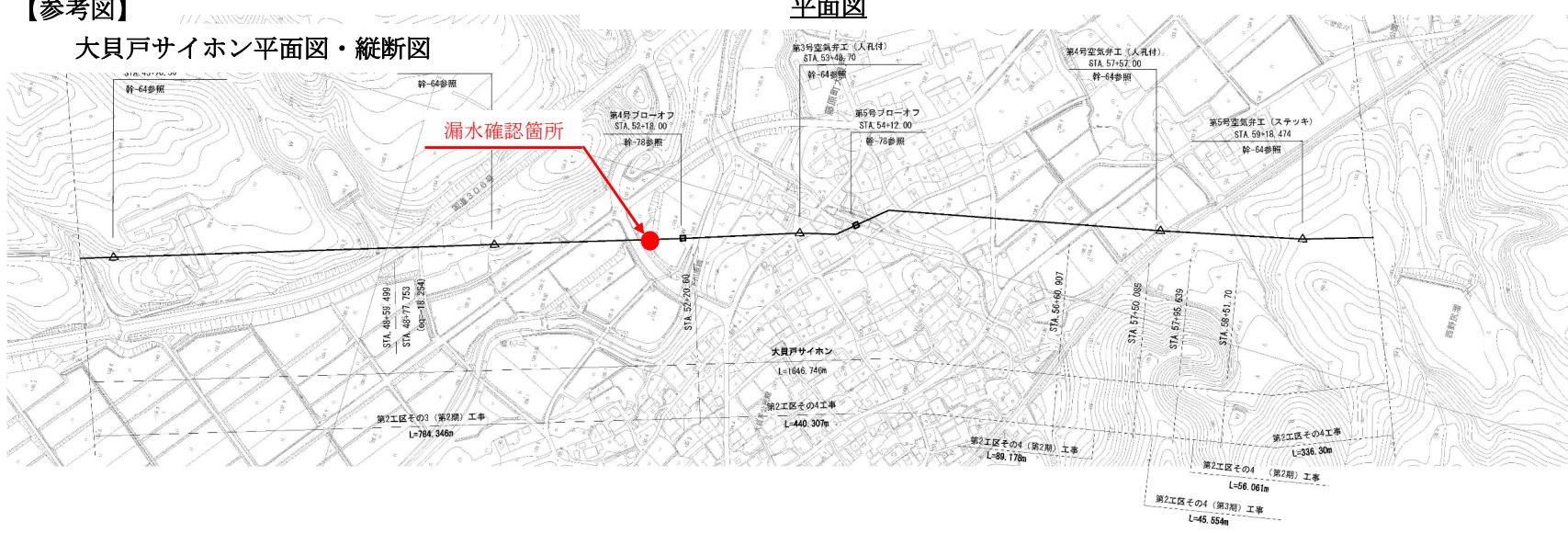
## 全体平面図

$S = -$

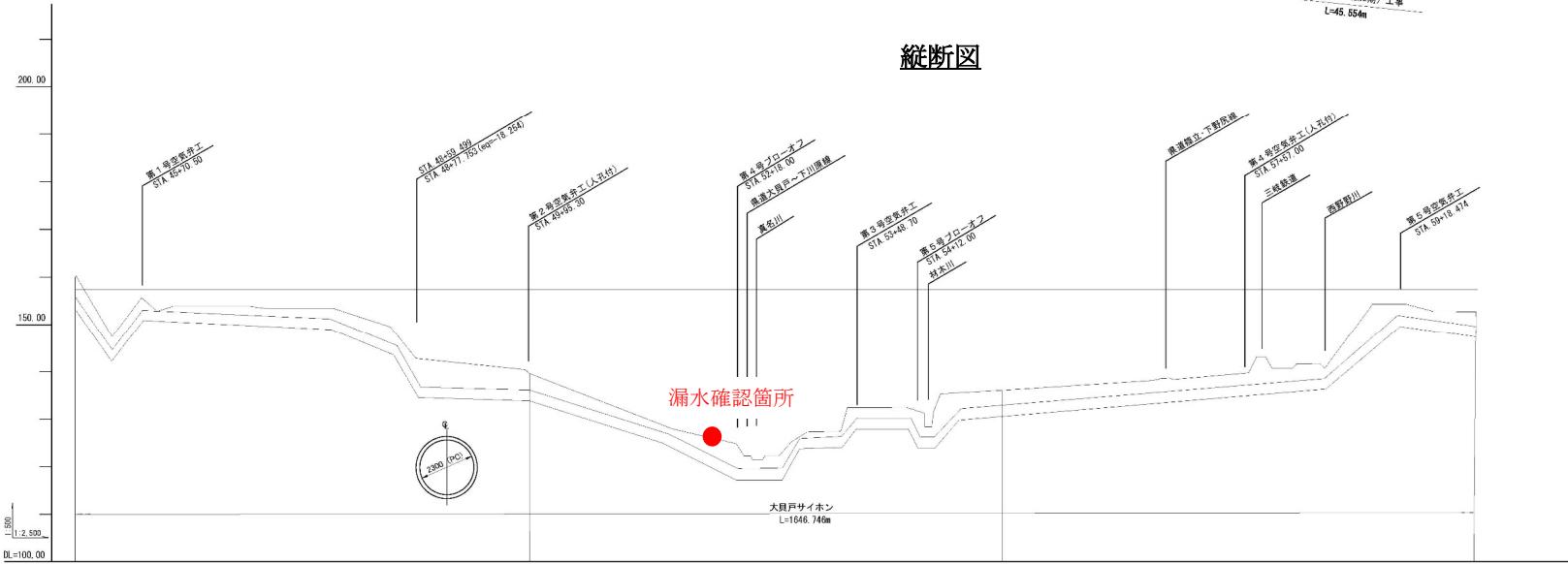


【参考図】

大貝戸サイホン平面図・縦断図



縦断図



凡例	
記号	名稱
フルーム	
サイホン	
トンネル(自由)	
トンネル(圧力)	
壁	
チャック	
水路堤壝	
水槽	
分水	
支沟	
制水分工	
ブローオフ	
オブン・トンネル	
消音計工	
漏水	
その他構造物	

測点	標高	断面	測点	標高	断面
STA 49	-141.792	133.165	STA 50	-135.820	135.728
STA 52	-146.00	116.693	STA 53	-146.029	116.595
STA 54	-142.00	123.550	STA 55	-145.50	123.660
STA 56	-144.00	116.950	STA 57	-142.00	116.950
STA 58	-143.00	135.860	STA 59	-148.424	153.320
STA 60	-146.490	146.490	STA 61	-142.00	145.071

変更内容	変更	点検	照査	承認
工事名	第2工区その2 (第2期) 工事	第2工区その4 (第2期) 工事		
図面名	平面・縦断図			
作成年月日	平成27年3月			
縮尺	1/500	V-LINE	図面番号	31-4
会社名	独立行政法人水資源機構 三重用水管理所			
事業者名				

【参考見積様式（設計業務）】

項目	式	設計業務（人）						
		主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
三重用水大貝戸サイホン地中空洞調査	1							
地中レーダ探査結果解析	1							
解析結果取りまとめ	1							

【参考見積様式（地質業務）】

項目	式	地質業務（人）			機械損料 (地中レーダ装置)
		地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	
三重用水大貝戸サイホン地中空洞調査	1				
地中レーダ探査	1				

※ 上記技術者単価は「設計業務委託等技術者単価（国土交通省公表）」であり、各業務に必要な技術者人数（セル着色部）を入力願います。

※ 旅費交通費、電子成果品作成費、諸経費は別途計上しますので、上記金額に含めないでください。

※ 機械損料は、地中レーダ装置に係る損料であり、地質業務（地中レーダ探査）における「直接人件費の〇%」と記入してください。